

宇宙宇宙ロボット

うさお ももか

うちゅうは人間がともすみづりいです。  
なせなりうちゅうは地球とかんきようが大や  
くちがうかりです。た  
たとえばうちゅうには空気がありません。  
うちゅうには重力がありません。うちゅうに  
はこうげきのなうちゅう人もいるかもしれま  
せん。このよ様な地球とのたくさんのちがい  
があるためうちゅうでは人間はうちゅう服を  
きなければいけず、自由に行動できません。  
これでは地球以外の星でたんけんしたり、た  
てものをつくらたりすることはできません。  
そこで、わたしは、人間がうちゅうで地球と  
同じように生かっできるようになるロボット  
を考えました。  
わたしは考えたロボットは宇宙宇宙ロボット  
です。このロボットは花火を星でうち  
上げて、うちゅうで人間があんしんしてくり

せるかんきょうをつくりだすことが出来るので  
びす。

宇宙中心ロボットの使いかたをせつめい  
いします。このロボットは、うちゅうごみや  
星のかけらなどのせいふんをぶんかいして、  
花火をつくります。花火をうちあげると、ドッ  
カーンと音がしたような感じがしますが、じつ  
さいには音はなっていない。うちあげると、  
キラキラとしたものがふって出て、ドームが  
たになります。すると、そのドームの中が、  
地ぎゅうと同じかんきょうになります。ドーム  
は、みじかければ一日、長ければ一しゅう  
かんほどもちます。かんがたつといかんが  
かきえてもその星にもどります。ドームが  
たもつ時間で、色もかわります。一日だと、  
赤、二日だと、だいだい、三日だと黄、四日  
だと緑、五日だと青、六日だとあせい、七日  
だとむらさき色、というふうな色びす。うちゅう  
ごみや星のかけらなどのソライロで、ドーム  
の広さもきまります。ソライロが少なければ小

3

コウヨ 4-75 20X20

さいドームが、リょうが夕げれば大きいドーム  
ムができます。花火のかたちで、出てくるもの  
のもちがいます。ドーム形だと、ドームがで  
き、家の形だと家ができます。正方形だと、  
はたけができます、長方形だと、川ができます。  
はたけは、川の水をあけて五分まつと、お米  
やわさいかとれます。川では魚がとれます。  
家にろかできるものがあるで、それをつか  
て川の水をろかすれば、のみ水はしんはいあり  
ません。太陽から二日目にちか、金星で  
ません。太陽はかんじょうなので、太陽より二ば  
ん目に近い金星でも、とけません。また、ド  
ームの中はかいてきで、すずしいです。もし、  
うちゅう人がそんざいするとすれば、そのう  
ちゅう人のこうげきから守ってくれるほどが  
んじょうです。このロボットが、ちよくせつ  
こうげきさせられたり、きがついたときは  
きおは、せつろ二分ほどびびりうごなありま  
すが、ちよくせつこうげきした場合は、三分  
ろ一日、場合によつては二日以上かかること

があります。でも、一度うけたらうけきは、  
 ロボットがこのうけきはひのようになりし  
 すればいいかを、考えてくれるので、もう一  
 度そのうちゅう人がきても、たいしょしてく  
 れるのむたいじょうぶです。びも、うちゅう  
 はとても広いので、人間たちのしりないところ  
 まで、まだたくさんあるのしるいのうちゅうじ  
 んがいるかもしれません。そのうちゅうじん  
 がいつせいにこうげきしてきたらロボットも  
 たいしょするほうほうを人がえられなにか  
 もしれません。そんなことをふせぐために、  
 こんな花火があります。すべてのうちゅうじ  
 んに「びぶんはてきびはな」とつたえること  
 ができるはなびです。このはなびは、なま  
 えのとおり、うちゅう上りるとすべてのうちゅう  
 人に「びぶんはてきびはな」ということをつたえ  
 ることができます。うちゅう上りると、すべての  
 うちゅうじんが「あ、あのほしにいる人はきけ  
 んななじやないんだな」とわかってくれるの  
 で、もう、うちゅうじんはおそあれることは

小学 4-75 20x20

5

ありません。  
うちりうちりさするのは、  
ないゆりけません。でも、  
になったらどうしまし  
あ。さんきゅうまう花  
そのばしままで口ポッ  
ます。